

つなげよう つながろう
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるためのコミュニティ紙です。
自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。
「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。

- ▶ 「想い」をつなぐ「タスキ」をつなぐ～第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(P2～3)
- ▶ ふたばのイトコ再発見!～復活! 渋川の神楽(P4～5) ▶ ふるさとの良さを伝えたい～ぐるぐるユニット活動報告(P4)
- ▶ 『よっちゃんスルメ』ダルマ市出店助っ人募集中!(P5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 町からのお知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



「想い」をつなぐ

「タスキ」をつなぐ

第28回市町村対抗

福島県縦断駅伝競走大会



11月20日(日)、第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が開催されました。双葉町駅伝チームは総合48位(53チーム中)、町の部27位(29チーム中)という成績を収め、16人の選手全員が最後まで走り切りました。

応援メッセージを胸に

1月19日(土)、白河市と郡山市の宿泊施設には、駅伝大会を翌日に控えた選手・スタッフの姿がありました。これまで本番に向けて、各地で練習を重ねてきた選手たち。夕方から行われたミーティングで

は、久しぶりの再会を喜び合う選手もいれば、緊張した面持ちの選手もいて、その表情はさまざまでした。

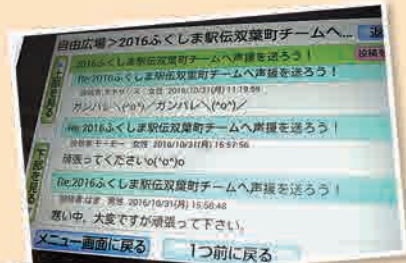
ミーティングの最後には、選手・スタッフ全員で応援メッセージが組み込まれたスライドショーを見ました。この応援メッセージは、双葉町配付のタブレット端末と町公式HPで募集したもので、大会前日まで多くの応援・激励の言葉が集まりました。

「体調に気をつけて頑張ってください」
「ガンバレ！加須市から応援しています」
「順位なんか問題じゃないぞ！」

これらの言葉には双葉町を応援するみなさんの想いが込められていました。

「タブレットでみんなが応援してくれていることが分かってうれしい」
「勇気づけられた。みなさんの気持ちに答えられるように頑張りたい」

「ふくしま駅伝が町のつながりを感じさせてくれる」
動画を見た選手からは、このような感謝の言葉や本番に向けた意気込みが聞かれました。町民のみなさんの「想い」を受け、選手たちは双葉町の絆の強さを改めて実感した様子でした。



生中継にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました!



←応援メッセージ動画はこちらからご覧になれます
**ふくしま駅伝2016応援メッセージ
 フルバージョン**



想いを胸に駆け抜ける選手たち

11月20日(日)午前7時40分、しらかわカタールス
 ポーツパーク陸上競技場から福島県の市町村53
 チームが二斉にスタートしました。

沿道には町民のみなさんや選手の家が駆けつ
 け「がんばれ!」と選手に声援を送りました。また、
 タブレット端末のコミュニケーション広場では、スタッフ
 のみなさんに選手の様子などを投稿していただき、
 駅伝の生中継を行いました。

未来につながる団結力

フイニッシュ地点の福島県庁前では、アンカーの
 井戸川俊選手を、選手・スタッフ、これまでチームを
 陰で支え続けてくれた方など全員で出迎えました。
 フイニッシュの後に飛び交ったのは「お疲れさま!」
 「よくやったぞ!」というねぎらいの言葉。選手・ス
 タッフ全員が笑顔で大会を終えることができました。

大会後に行われた解団式では、選手一人ひとりが
 想いを話しました。
 「初参加で緊張したが走り切ることができてよかつ

た。来年はタスキをつなぎたい」
 「タイムも順位ももう少し伸びるかと思っていたの
 で残念。でも双葉町の一員として走ることができて
 よかった」

「双葉町のためになりたいと思って走った。来年は順
 位を上げたい」

選手たちの言葉はさまざまでしたが、その表情か
 らは、町の代表として走り切ったという達成感が感
 じられました。選手・スタッフ・町民のみなさん：町
 一丸となって臨んだ今年のふくしま駅伝。この団結
 力が未来の双葉町の力になることでしょう。



選手への応援メッセージ、タブレットで



11月5日(土)、6日(日)に開催された「ふるさと祭りの祭り2016 in 白河」で約6年ぶりに復活した「渋川の神楽」。平成23年元旦の愛宕神社での奉納以来となつたお披露目は、この日を待ち望んだメンバーの想いが伝わる、見事な舞となりました。

渋川の神楽とは

双葉町渋川地区において古くから伝承される「渋川の神楽」は、愛宕神社や地区内の厄流し、結婚・新築祝いなどに家々をまわり、舞を披露しました。一度は活動を休止した時期もありましたが、昭和51年に渋川芸能保存会が立ち上がり、復活しました。

渋川の獅子は雌であるため、四方固め・幣束舞・鈴舞・虎舞の4つの舞のうち、虎舞以外はゆつたりした動きが中心です。一番の特徴は、虎舞の際、さらに2〜3人の舞手が加わり繰り広げられるダイナミックな舞。幕も大きく作られており、町内の神楽の中でも一番大きな獅子を見ることが出来ます。

ふたばのイトコ再発見!

復活! 渋川の神楽

～新たな歴史の1ページ～



来年1月にいわき市で開催される双葉町ダルマ市「ようちんスルメ」ブースでも「ツナガル」を限定150部配付します。みなさまぜひお越しください。

「高校時代まで浪江町・大熊町で過ごしました。どちらも私にとってかけがえのないふるさとです。やはりふるさと双葉郡の方はみんな優しく、話していても落ち着きます。こんな優しい人たちが揃う双葉郡がもう一度震災前の姿を取り戻し、みんなで一緒に再出発できる日を待ち望んでおります。」ふるくるユニット代表 吉田一貴

ツナガル編集後記より(抜粋)

「関東で再開した双葉郡のお店を紹介したい」というメンバーの想いから作られたこの冊子。お店や農園の情報収集、取材依頼、取材、記事作成、編集までの作業をメンバーが行いました。10月に開催された「ふたばワールド2016 in かつらお」2016ふれあいフェスティバル(東京)「2つのイベント会場」この冊子を自ら来場者へ手渡し。ふるくるユニットメンバーにとってこの企画は、たくさんの方の想いを知り、自分の中にある「ふるさと」を感じる機会となったようです。

「関東で再開した双葉郡のお店を紹介したい」というメンバーの想いから作られたこの冊子。お店や農園の情報収集、取材依頼、取材、記事作成、編集までの作業をメンバーが行いました。10月に開催された「ふたばワールド2016 in かつらお」2016ふれあいフェスティバル(東京)「2つのイベント会場」この冊子を自ら来場者へ手渡し。ふるくるユニットメンバーにとってこの企画は、たくさんの方の想いを知り、自分の中にある「ふるさと」を感じる機会となったようです。



ふるくるユニットの良さを伝える活動報告

復活にかける想い

震災後も2年ごとに保存会総会を開き、復活の日を待ち望んでいたメンバー。2年前、町からの声掛けが復活のきっかけとなりました。

これまでの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、ふるさとの祭りへの出演という目標ができたこと、また何よりもメンバー全員が「伝統を絶やしたくない」という強い想いが今回の復活につながりました。

ふるさとの祭り前日は、本番さながらの熱の入った練習を行いました。練習後、保存会会長吉田清巳さんと副会長廣田正秀さんにお話を伺いました。

「これまで、獅子の動きや笛・太鼓の拍子などを先輩たちと一緒にやりながら覚え、継承してきた。渋川は28軒しかない小さな行政区区だけど、神楽を守れていることを誇りに思う」（廣田副会長）

「6年ぶりです、しかも大きな舞台での披露なので、気合の入りが違うし、格別な想いもある。幕は前の世代の先輩たちが縫って作った想いが詰まったもの。今、どこの神楽も後継者がいなくて大変だけど、先輩たちの想いと一緒に神楽をつないでいきたい」（吉田会長）

本番当日、メンバーは少し緊張した面持ちで舞台に登場しました。

力強い笛が鳴り響くと、太鼓の拍子に合わせて、ゆったりとした舞からダイナミックな舞へ。

深い眠りから目覚めた「渋川の神楽」。代々受け継がれてきた伝統芸能に新たな歴史が刻まれました。



『よっちゃんスルメ』 ダルマ市出店助っ人募集中!

2017年双葉町ダルマ市

- 開催日: 2017年1月7日(土)、8日(日)
- 場所: いわき市南台応急仮設住宅イベント広場 (福島県いわき市南台3丁目1-1)

よっちゃんスルメ 出店参加申込みフォーム

- ▶ 右記QRコードより申込みできます
- ※ 参加対象者: 20代~40代の双葉町民 (町民以外の方はご相談ください)



お問い合わせ先

☎070-5583-6798

(平日午前8時30分~午後5時15分) (担当: ふたさぼ 芳門)

✉ info@futabamachi-s.com

(件名に「よっちゃんスルメ」と記載してください)

ふたばの懐かしの味「よっちゃんスルメ」で2017年双葉町ダルマ市を一緒に盛り上げませんか。

今年1月のダルマ市で「ぐるぐるユニット」が復活させた『よっちゃんスルメ』。双葉町の海の家や町民体育祭などで「よっちゃん」と呼ばれる町民が販売していたというスルメの甘辛煮は、40代以上の町民にとっては懐かしの味です。

現在、来年1月の双葉町ダルマ市に向けて『よっちゃんスルメ』出店準備中です。お一人でも、お友達と一緒にでも、できる範囲で構いません。お手伝いしていただける方を大募集しています。懐かしの味を通してふるさとの温かさに触れてみませんか。ふるさとの良さを再発見できること間違いなし!

詳しくは左記までお問い合わせください。



ふたばのお スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



10月8日
双葉町民は今!? 報告 & 上映会
in 会津若松(会津若松市)



10月17日
東京ふれあい双葉会×県南双樹会
交流会(白河市)



10月20日
あじさいクラブ(いわき市)



10月21日
社会福祉協議会 いきいきサロン
in 加須(加須市)



10月23日
避難者と支援者による
2016ふれあいフェスティバル(東京都内)



10月27日
ママサロン in なこそ
(いわき市)



10月27日
いわき・まごころ双葉会バスツアー
(いわき市)



11月1日
社会福祉協議会
出張ひだまりサロン
(南相馬市)



11月4日
双葉会 芋煮会(仙台市)

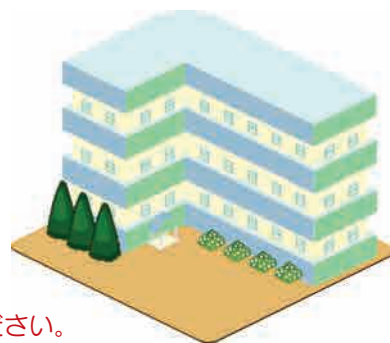
町からのお知らせ

福島県復興公営住宅の再募集について

福島県では、原子力災害により避難指示を受けている方が入居できる復興公営住宅を整備しています。

6月27日～8月31日に実施した第5期分及び第4期からの引き続き分の募集の結果、申し込み数が募集戸数に満たなかった住宅の再募集についてお知らせします。

今後、新たな復興公営住宅の整備予定はありませんので、復興公営住宅への入居を希望される方はこの機会にぜひ申し込みください。



対象住宅 ※間取り別の戸数については、福島県復興公営住宅入居支援センターにお問い合わせください。

第5期分の再募集については以下のとおりです。

所在地	団地名	住戸形態	戸数	入居可能時期（予定）※1	入居対象市町村
いわき市	勿来酒井	集合住宅	48	平成29年度後期	双葉町
		木造長屋 (テラスハウス)	8		
	北好間(北) ※ペット可	集合住宅	4		双葉町 富岡町 大熊町 浪江町
	北好間(南)	集合住宅	4		
平赤井	集合住宅	13			
広野町	下北迫	木造2戸1棟	8		

第4期引き続き分の再募集については以下のとおりです。

所在地	団地名	住戸形態	戸数	入居可能時期（予定）※1	入居対象市町村
福島市	北沢又	集合住宅	41	平成29年3月以降※2	双葉町 富岡町、大熊町、浪江町、飯館村
いわき市	中原(東) ※ペット可	集合住宅	19	平成29年度前期	双葉町 富岡町 大熊町 浪江町
	中原(西)	集合住宅	42	平成29年度前期または 平成29年度後期※2	
	四ツ倉	集合住宅	33	平成29年10月以降※2	
二本松市	石倉	集合住宅	39	平成29年3月以降※2	双葉町 富岡町、大熊町、浪江町、飯館村

※1 入居可能時期については、工事の状況により前後することがあります。
 ※2 当選順位により入居可能時期が異なります。あらかじめご了承ください。

申込期間

平成28年11月24日(木)～平成29年1月11日(水)

※当日消印有効

対象者

平成23年3月11日において帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に居住していた方 ※避難指示が解除された後に復興公営住宅に申し込むことはできません。

注意事項

第5期及び第4期引き続き募集の抽選で当選しなかった方は再度申し込みができます。すでに他の団地に当選している状態で新たに申し込むことはできません。申し込みを希望される方は、すでに当選している団地を辞退した上で、お申し込みください。

お問い合わせ先

福島県復興公営住宅入居支援センター

専用ダイヤル

☎024-522-3320

【受付時間：午前8時30分～午後5時15分（土日、祝日を除く）】

- 住所：〒960-8043 福島県福島市中町8-2 福島県自治会館7階
- FAX：024-522-3321 ■メール：ffkjss@bz04.plala.or.jp
- 入居支援センターホームページ：http://www.npo-junkan.jp/fukkou/



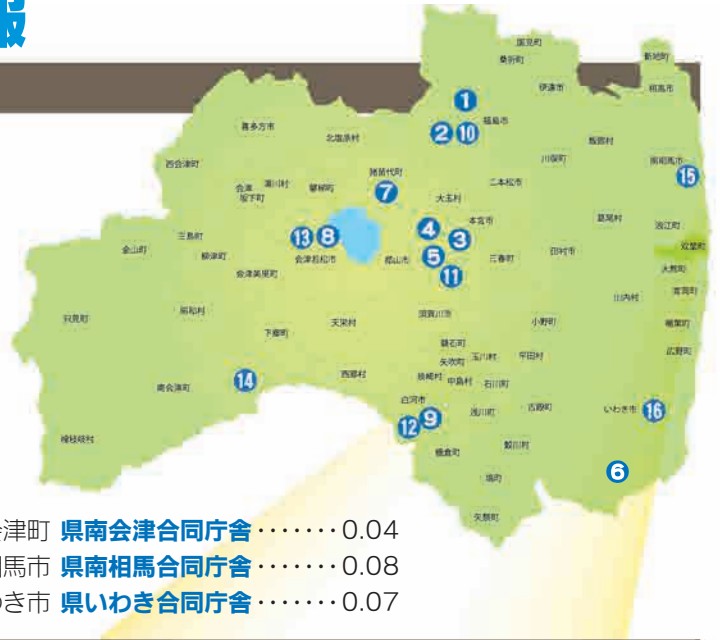
放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成28年11月25日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.12~0.21
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.06~0.08
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.12~0.22
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.09~0.44
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.13~0.21
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.07~0.08
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.06~0.21
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.12~0.16
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.18
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.10
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.08
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.06

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.08
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 11月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.63
新山	新山公民館	—	0.40
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.41
新山	双葉南小学校	—	0.48
新山	双葉中学校	—	0.22
新山	県立双葉高等学校	—	0.28
新山	中央公園	—	0.50
下条	双葉総合公園	2.60	0.86
下条	双葉町役場	—	0.28
郡山	郡山公民館	1.48	0.52
細谷	細谷公民館	2.31	0.65
三字	三字公民館	2.53	0.96
山田	山田農村広場	24.47	6.45
石熊	石熊公民館	12.10	2.76
長塚	双葉町体育館	6.25	1.86
長塚	長塚二公民館	3.26	0.80

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 11月25日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.13
長塚	町西住宅	—	0.46
長塚	JAふたば北部営農センター	—	6.21
長塚	双葉北小学校	—	1.78
長塚	ふたば幼稚園	—	1.56
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.45
長塚	双葉町児童館	—	0.34
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.68
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.58
寺松	寺松公民館	3.46	1.13
渋川	渋川公民館	1.48	0.50
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.49
中田	中田公民館	0.77	0.28
両竹	両竹公民館	0.54	0.10
浜野	浜野公民館	0.34	0.08

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今月号では、ふくしま駅伝の話題を取り上げました。この大会に向けて各地で練習を積み重ねてきた選手たちの勇姿を、みなさんはテレビやラジオ、タブレット端末などでご覧になったでしょうか。

私が取材をする中で、特に印象に残ったのが陰で選手を支え続けたスタッフの姿です。車で選手を各中継所に送り届けたり、本番を控え緊張する選手の話し相手となったりと、16人全員が最後まで走り切ることができたのは、この献身的なサポートがあったからだと思いました。

毎年、たくさんの方の支えで成り立つふくしま駅伝。双葉町の絆が改めて感じられる機会となりました。
(ふたさぼ 山下真央)

後世に残したい双葉町

結婚して子どもが生まれてからは、家族でよく双葉海水浴場に出かけていました。「せっかくきれいな海の近くに住んでいるのだから、マリンスポーツをしてみたい」とシュノーケリングを始め、海水浴期間中は毎週末のように海で泳いでいました。快水浴場百選に選ばれている双葉海水浴場は、水温も高く波も穏やかで数多くの魚や貝などを見ることができました。震災後は行けなくなりましたが、シュノーケリングの熱は冷めず、毎年妻の家族が暮らしている新潟県柏崎市の海で楽しんでいます。

当時保育園に通っていた子どもも今は小学校6年生になりました。またいつか、家族で双葉海水浴場に行ける日が来ることを願っています。

